

「束率を15%以下に」という目標とノーマライゼーション思想と

私がつとめている病院でも拘束率が高く、どのようにしたら拘束率を下げられるか悩んでいました。ただ、「私の判断で拘束を解除してしまったら、次の人に何といわれてしまうか」と思っている自分がいました。

今年度、病院は、「拘束率15%以下」という目標が掲げました。その数字に対しても「理想過疎高すぎる」とおもってしまっていました。

けれど、視点を患者さん本人におけば、拘束されるメリットはほとんどありません。「えにし」のHPの「ノーマライゼーションの生みの父 ニルス・エリック・バンクミケルセンさん」を読んで、<http://www.yuki-enishi.com/challenger-f/challenger-f02.html> ノーマライゼーションという思想に改めて触れ、拘束しないことがスタンダードという意識をもつ必要があると思いなおしました。

だれもが、ふつうの暮らしを味わう「権利」があり、社会はその権利を実現する「責任」がある、のですよね

がんばって取り組んでいきたいと思います。

看護師をしています